

報道関係者各位

2022年9月20日
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

ディズニー、認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワークと協力し
神奈川県立こども医療センターにディズニーのキャラクターをあしらった壁紙を日本で初めて提供
～病気と闘う子どもたちに、安らぎと楽しいひと時をお届け～

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社は、ディズニーが認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワークと協力し、病気や障害を持つ子どもたちとその家族に安らぎと楽しいひと時をお届けすることを目的に、神奈川県立こども医療センターにディズニーのキャラクターをあしらったインタラクティブ*な壁紙を日本で初めて提供したことを発表いたしました。今回の取り組みは、ウォルト・ディズニーがディズニーのアニメーターやキャラクターを連れて入院している子どもたちを訪問して以来始まった、ディズニーが子どもたちと家族のために行っている支援の歴史を基盤にしています。

*インタラクティブな要素を提供する Disney Team of Heroes アプリは年内提供開始を予定しています。

ディズニーは、病気と闘い、慣れない環境に不安を感じる人が多い子どもたちとご家族が、大好きなディズニーのキャラクターや物語に触れることで、病院生活の不安が和らぎ、安心して過ごしていただけることを目指していきます。



外来待合室の壁紙



重症心身障害児施設の壁紙



検査室の廊下



検査室の壁



検査室の扉



検査室内



9月20日（火）神奈川県立こども医療センターで行ったテープカットセレモニーの様子

この壁紙は、ウォルト・ディズニーのイマジニアたちとウォルト・ディズニー・スタジオの比類なきクリエイティビティから生まれたもので、ディズニーを象徴する、ディズニー、ピクサー、マーベル、スター・ウォーズのブランドやフランチャイズから個性豊かなキャラクターが登場し、通院や入院生活の不安を軽減するために、革新的な方法で子どもたちにクラシックな物語を再現しています。これらの壁紙は、神奈川県立こども医療センターの外来待合室の壁面、検査室内診察室の壁面や扉、重症心身障害児施設「ひだまり」のプレイルームなどに施されます。

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 代表取締役社長のキャロル・チョイは、次のように述べています。「私たちは、ディズニーのストーリーやキャラクター、卓越したクリエイティビティが、病気に直面している子どもたちとその家族にポジティブな影響を与えることを信じています。そして、ディズニーが日本において初めて、神奈川県立こども医療センターにこのプログラムを提供し、ディズニーの世界を体験いただくことができ大変うれしく思っています。私たちは、こども病院での取り組みを通じて、地域社会に安らぎと明るさをもたらし、患者のみなさんが最も必要とする時に安らぎと希望をお届けすることを目指してまいります。」

神奈川県立こども医療センター総長 町田 治郎は、次のように述べています。「日本のこども病院ではじめて、この素晴らしい特別な体験の提供を受けたことを感謝し、大変うれしく思います。ディズニーの壁紙は病気で苦しく悲しい想いをしている子どもたちに安らぎと喜びをもたらします。神奈川県立こども医療センターには子どもたちに向けた『あなたの「げんき」と「えがお」のためにみんなでちからをあわせませます』という誓いがあります。私たちは引き続き、こどもとその家族のために最善の医療を提供してまいります。」

認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク専務理事 福島慎吾は、次のように述べています。

「私たちは、ウォルト・ディズニー・ジャパンと協力し、ディズニーの比類ないストーリーテリングの力で病院の子どもたちにインスピレーションを与えることを嬉しく思います。私たちは、日本に暮らす難病のある子どもたちに安らぎと感動を届けるとともに、最も困難な時期にどのようなケアが必要なのか、その認知を高め、いろいろな分野で子どもたちと家族の「いのちの輝き」を高める活動を続けてまいります。」

今回、壁紙に加えて、神奈川県立こども医療センターに以下を提供します。

- **スタッフバッジ：**

医師や看護師、スタッフの皆さんが、好きなキャラクターや親しみやすいメッセージの入ったバッジをつけることで、人と人がつながるきっかけを提供します。

- **ディズニープラスへの無料アクセス：**

子どもたちの入院生活の不安を和らげるために、動画配信サービス「ディズニープラス」の楽しいコンテンツを提供します。

- **Disney Team of Heroes アプリ（年内提供予定）：**

AR が盛り込まれ、ゲーム、インタラクティブな物語、アニメーションのキャラクターとの出会いなど、病院の待ち時間に想像力と楽しさを提供します。

ウォルト・ディズニー・カンパニーは、物語の力によって、より良い世界を実現するために尽力しています。特に子どもたちにとって、希望と約束に満ちた世界。病気と闘う子どもたちと、彼らを支える人々に希望や

安らぎを与えることは、このミッションの中核をなすものです。このコミットメントは、ディズニーが 1 億ドルのグローバルでの貢献をし、患者さんの体験を再構築するための支援に反映されています。ディズニーは、世界中の 750 以上のこども病院や小児医療施設において、ディズニーの物語やキャラクターが持つ前向きになる力を子どもたちに届けています。子どもたちが家族と忘れられない瞬間を共有することで、患者としてではなく、子どものように感じるができるようにすることです。物語の力を通じて希望と安らぎを届けるディズニーの取り組みについては、impact.disney.com で詳しくご紹介しています。

物語の力でより良い世界へ

一人ひとりが、自分の存在を認められ、理解されていると感じられる、誰もが居場所のある世界。人と野生動物が共存する、バランスのとれた地球。希望と可能性に満ちたコミュニティ。ディズニーはこの3つの実現を物語、体験、事業、CSR 活動を通じて目指していきます。

URL: <https://www.disney.co.jp/corporate/social-responsibility.html>

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社について

ウォルト・ディズニー・カンパニー（米国本社）は、1959 年に現地日本法人を設立し、日本市場に本格参入しました。2000 年 4 月に日本国内の複数の関連子会社を統合、2002 年 8 月にウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社に社名変更し、ディズニーのビジネスを日本で管轄しています。スタジオ・モーションピクチャーズ、メディア、ダイレクト・トゥー・コンシューマ動画配信サービス、コンシューマ・プロダクツ、ディズニー・ストア、ゲーム、パーク&リゾートなど幅広いビジネスで相互に"シナジー"（相乗効果）を高めながら、多角的に事業を展開しています。

本件に関するお問い合わせ

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 PR 事務局（株式会社プラップジャパン内）

担当：小島・中野・早津 MAIL: disney-pr@prap.co.jp